



妻北っ子だより

令和4年度 1月号 文責 校長

同時流行？

コロナウィルスとインフルエンザウィルス感染が、広がりを
見せています。

冬休み明けはコロナ陽性や濃厚接触、またそれを心配しての
お休みが多かったのですが、成人の日以降からじわじわとイン
フルエンザによってお休みする児童が増えてきています。

学校でも細心の注意を払って、感染対策に努めていますが、ご
家庭でも手洗い・うがいの励行、発熱等のご連絡にご協力をお願
いいたします。



「レベルアップの3学期に」 3学期始業式代表発表<5年生>

5年1組 池田 春

翔

2023年(令和5年)がスタートしました。

私はウサギ年にちなんで今年の目標を「翔」としました。

今年は、小学校の最高学年・6年生になる特別な年です。6年生は、学校のリーダーになります。

リーダーというと教室のカベに貼ってある「リーダーの条件」を思い浮かべます。

私はその中から3学期の目標を考えました。私の3学期の目標は、「視野を広くもち、全学年のお手本になるように努力する」です。「無言の場」などのきまりを守り、低学年にやさしく、困っている友達や学級・学校全体の問題に気づき、それを解決するために自分から進んで行動するようにしていきたいです。

これまでの私は、特に無言がきちんと守れていませんでした。授業中や給食の時間に友達に話しかけたり、友達の話にのってしまったりして注意されることがありました。

今の6年生(の人たち)は、ろうか歩行など、いつも無言で礼儀正しく、きまりを守っているので見習っていきたいです。また、運動会するとき、負けていてもみんなを励まして大きな声を出し続けた6年生に勇気もらい、こんな6年生になりたいと思うようになりました。

そして、もう一つ。去年の6月の宿泊学習で学んだ「規律・協同・友愛・奉仕」の言葉も大切にしていきたいです。フィールドアスレチックや班での活動を通して、一人ではできないことも、友達と協力し合えば目標を達成でき、チームワークがよくなることを実際に体験しました。このことをこれからの生活に生かしていきたいと思います。

今年はウサギ年。私は12歳になるので、私の年です。ウサギのように高く、大きくジャンプして目標に近づいていきたいです。そのために3学期は6年生をめざしてレベルアップするように努力していきたいと思います。

2月行事

- 1日(水) 教育相談アンケート配布
- 2日(木) インリーダー教室①(5年)
- 3日(金) 委員会活動・代表委員会
- 6日(月) 全校朝会
・教育相談週間開始
- 8日(水) インリーダー教室②(5年)
- 11日(土) 建国記念の日

- 13日(月) 振替休業日(18日分)
- 14日(火) 北っ子アート展(~18日)
- 16日(水) クラブ活動
- 18日(土) 参観日
- 21日(火) 卒業式練習開始
- 23日(水) 天皇誕生日
- 24日(金) お別れ遠足・卒業生を送る会
・弁当の日・集団下校

「新年の目標」 3学期始業式代表発表<5年生>つづき

5年2組 香川 晏凜



今日から3学期が始まります。私は今5年生ですが、4月から6年生になります。そこで、私は今年頑張りたい目標を二つ決めました。

一つ目は、算数の勉強です。私は、算数が苦手です。みんながスラスラ問題を解いているのに、私はずっと考えて時間がかかってしまうことがあります。算数の時間の初めにする「1分間チャレンジ」でも、1分間で解けないこともたくさんありました。宿題をするときも、問題が難しいと、「あっ、分からないから、もういいや。」

と後回しにしてしまいます。だから、3学期は、算数の授業を真剣に受けて、勉強でも宿題でもみんなに追いつけるようにしたいです。

二つ目の目標は、委員会活動です。私は放送委員会なのですが、一度時間を間違えて放送をしてしまったことがあります。

その時は、放送委員会の6年生の人たちが助けてくれました。その時、私は、「迷惑をかけてしまった・・・。」「申し訳ないな。」

という気持ちでいっぱいでした。

だから、3学期は間違いのないように委員会の活動をしていきたいです。

そして、私も来年は、委員会活動で5年生を助けてあげられるような6年生になりたいです。

私は、もうすぐ6年生になります。最高学年になるので、1年生から5年生までの手本になる態度をとらなければなりません。3学期は、6年生に向けて、勉強や委員会活動などを頑張っていきたいです。

春さん、晏凜さんの発表内容をご覧になって、どのような感想を持たれたでしょうか？

「6年生になる」という意気込みが、よく伝わってくる作文ですね。

「どんな3学期にしたいか？」「次の学年でどんなことをしたいか？」ご家庭での話題に取り入れ、励ましの材料にしてただけるとありがたいです。

ゴミ？ 護美？

日頃から学校施設を活用される皆さんには、いつもきれいに使っていただいております。

朝、歩道橋下で子どもたちを迎える前に、火ばさみとバケツを持って校舎周辺を歩き回ります。

運動場・体育館・校舎周辺では、コンビニのレジ袋、キャンディの小袋、ペットボトル、空き缶、紙くず（ティシュペーパー等）を見かけます。

休み明けの北側の歩道や南側フェンス付近には、たばこの吸いがら、食品容器（サンドイッチ等の包み紙）が必ずといっていいほど落ちています。

中には、茂みの中に（見えないように？）捨てられていることもあります。

分別可能なものは容器や缶を洗い、ペットボトルのキャップはワクチン募金のために役立てるなどの処理をしています。

また、気になっているのは、「マスク」をよく拾うようになったことです。

ポケットやバッグに入れておいたものが落ちたのか、使われた形跡がない場合もあります。

3年前は、どのお店に行っても入手することができないほど不足していた「マスク」です。

6年生が地域貢献活動の一環で、学校周辺の清掃を行っています。

「稚児ヶ池」や「記紀の道」周辺にも、様々なものが廃棄されていたそうです。

「捨てればごみ、分ければ資源」ということばがあります。

捨てる側にならない意識を常に持ちたいものです。

